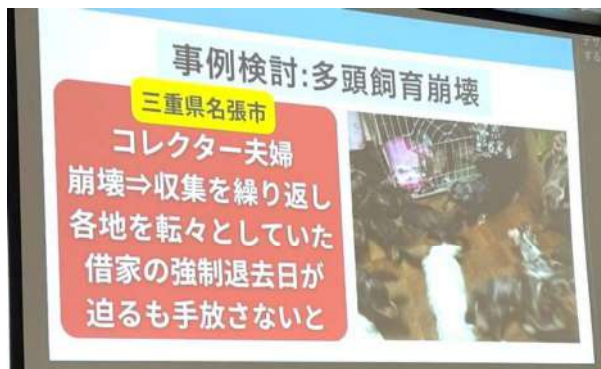


1月17日(土)、伊賀を拠点に全国で活動する一般社団法人・動物愛護団体「わんらぶ」より橋本慶志子さんを講師に迎え、出前講座「いのちの授業」が開催されました。名古屋や滋賀からの参加者、伊賀市役所の方々も来場され、学習室には40名を超える参加者が集まりました。

講座では、動物愛護を通して「生きとし生けるものの命の大切さ」を学ぶとともに、飼育放棄や多頭飼育崩壊がどのように起こるのか、その背景にある社会的課題について考える時間となりました。動物たちは声を上げられないにもかかわらず、人間の事情や都合によって悲しい末路をたどる現実があります。しかしその背後には、孤独や困難を抱え、助けを求められないまま追い込まれていく人々が存在することも指摘されました。問題の解決は特定の誰かを責めることなく、人と人がつながり支え合える社会づくりと深く関わっています。

当日は保護犬も来場し、参加者が直接ふれあえる時間も設けられました。講座終了後も保護犬との交流や橋本さんとの対話が続き、会場を離れがたい様子の参加者も多く見られました。人と動物、そして人と人とのつながりを実感できる、温かく学びの深い講座となりました。



また、今回の講座にあたり橋本さんは「講師料はいりません。その代わり、動物たちのためにタオルや毛布などを寄付していただけたら嬉しいです」と申し出てくださいました。その言葉を受け、蔵持市民センターでは1月末までタオル、フリース素材、毛布などの寄付を呼びかけました。

地域の皆さまの温かいご協力により、多くの寄贈品が集まり、17日の講座終了までに届いた分と1月31日までに集まったすべての品物を、わんらぶさんに無事お渡しすることができました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

◎2月22日(日) NHK BS 午後2:57~4:29「家族になろうよ」～犬と猫と私たちの未来～※生放送にて、『一般社団法人 動物愛護団体 わんらぶ』とその保護猫たちが出演します。

皆様、是非ご覧ください📺🎵

◎次回の出前講座は3月19日(木)「多文化共生のまちづくり」です。皆様のご参加お待ちしております。